

令和5年度

神戸リハビリテーション衛生専門学校

学校自己点検・評価報告書

文部科学省・専修学校における学校評価ガイドライン 準拠

学校法人スマイル・アカデミー

1. 学校の教育目標

本校学則第1条（目的）に「本校は、理学療法士及び歯科衛生士となるために必要な専門の知識及び技術を習得させ、併せて科学的知見と豊かな人間性を養い、社会の要請に応え得る有能な人材を育成することを目的とする」としており、医療・介護分野に関する職業人を要請しております。

私たちスマレ・アカデミーの願いは、現在の社会福祉に貢献すべく高い専門性と深い人間愛を兼ね備えた医療・福祉従事者として卒業生が活躍し続けることです。

本校に在学中の学生生活を充実させることは勿論のこと、卒業後の仕事においては「理学療法士」「歯科衛生士」の国家資格を活かし、就業年数に相応しい知識・技術・見識を身に付け、職業人として10年・20年先まで中心的な人材として活躍できるように、卒業後も各種研修・研究の場を提供し、活用してもらえる教育機関でありたいと考えます。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 理学療法学科に関して

学外教育では、スマレグループの関連施設の協力のもと臨床実習教育の維持に努める。学内教育では、授業計画で示した学習目標に到達できるよう対面授業と遠隔授業を効果的に配置する。また、引き続き退学者数の減少による進級率の引き上げに取り組んでいく。

(2) 歯科衛生学科に関して

学内教育では社会のニーズに応じた実践と支援援助ができる歯科衛生士を育成するという観点からカリキュラムを体系的に編成している。授業計画に学習目標および、実技科目には到達目標を示し、学習を効果的に進める上でも、デジタルマイクロスコープを使用した拡大視野下での技術習得実習を展開している。また、退学者数の減少による進級率の引き上げにも取り組んでいく。

(3) キャリア支援講座

兵庫県指定の「認知症介護研修事業」を始め、「キャリアアップ研修」等、地域医療に根差したリカレント教育に取り組んでいく。

3、評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1				
・学校の理念・目的・育人人材像は定められているか。(専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1	本校の教育理念を踏まえて3つのポリシーを策定している。
学校における職業教育の特色は何か。	4	3	2	1	豊かな人間性および汎用的技能の獲得を重視している。
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構造を抱いているか。	4	3	2	1	超高齢社会、医療費高騰といった問題へ対応できる人材の育成を目指す。
・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	4	3	2	1	「ディプロマ・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「アドミッション・ポリシー」はパンフレットやホームページで公開している。
・各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	3	2	1	各業界にニーズに沿って教育目標を設定している。

① 課題

・「ディプロマ・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「アドミッション・ポリシー」はパンフレットやホームページで公開している。しかし、学科毎の3つのポリシーは公開されていない。

② 今後の改善方策

・学科毎に3つのポリシーおよびカリキュラムツリー・カリキュラムマップを公開する。

③ 特記事項

3、評価項目の達成及び取組状況

(2) 学校運営

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1				
・目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4	3	2	1	策定されているが、周知段階には改善の余地あり。
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4	3	2	1	策定されているが、周知段階には改善の余地あり。
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	4	3	2	1	策定されている。
・人事、給与に関する規定等は整備されているか。	4	3	2	1	整備されている。
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	4	3	2	1	整備されているが、連携面で改善の余地あり。
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4	3	2	1	整備されている。
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4	3	2	1	国家試験の合格率、就職率、授業評価、シラバスは、HPやSNS、パンフレットにて公開している。
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1	教務システムを導入している。

① 課題

- ・学科改変に当たって、教職員の連携をより強固にする必要がある。
- ・入学年次に当たる学生数の減少を踏まえ、教職員に運営面での理解・協力を再認識してもらう。

② 今後の改善方策

- ・法人全体の収支状況の報告の徹底。

③ 特記事項

3、評価項目の達成及び取組状況

(3) 教育活動

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1				
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4	3	2	1	教育課程編成委員会で収集した情報を教育課程の編成・実施方針等に反映している。
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4	3	2	1	教育到達レベルおよび実習時間は確保している。
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1	カリキュラムは体系的に編成している。
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4	3	2	1	臨床実習施設への教員の関与を増やし、学内と学外で教育方針の一致を図っている。
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	4	3	2	1	実習は体系的に位置づけられており、十分な時間が確保している。
・授業評価の実施・評価体制はあるか。	4	3	2	1	学期末毎に授業評価アンケートを実施している。
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4	3	2	1	教育課程編成委員会にて外部関係者からの評価を取り入れている。
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4	3	2	1	各基準は明確になっており、学則で示している。
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1	国家試験対策セミナーを実施している。
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4	3	2	1	各教員は担当する科目に関する分野の経験を有している。
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか。	4	3	2	1	関連施設から各分野のスペシャリストや学位取得者の確保に努めている。
・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取組みが行われているか。	4	3	2	1	関連分野の学会・研修会、教員講習会へ、積極的に参加している。
・職員の能力開発のための研修等が行われているか。	4	3	2	1	研修はあるものの、体系的には実施されていない。

① 課題

・授業評価に基づく学内研修についてさらなる検討が必要である。

② 今後の改善方策

- ・実習巡回時を含め、外部関係者からの助言や評価の受け入れ態勢を強化する。
- ・授業評価結果に基づく学内研修の検討を実施する。

③ 特記事項

--

3、評価項目の達成及び取組状況

(4) 学修成果

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1				
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1	就職率は100%を維持している。
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1	早期から国家試験対策セミナーを実施している。
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1	情意面に対しては面談、学習面に対しては補講や個別指導を実施している。
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1	活躍が把握できているのは一部である。
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1	効果の把握が不十分で、十分に活用されていない。

① 課題

- ・卒業後教育制度を利用もしくは共同研究を実施している卒業生に関する活躍や評価は把握している。しかし、その他の卒業生の近況の把握は不十分で、学校の教育活動の改善に利用することができていない。
- ・進路変更による退学者が減っていない。

② 今後の改善方策

- ・同窓会を活用して、卒業生の近況の把握に努める。具体的には卒業生対象のアンケートを実施する。
- ・進路変更の背景の一つに業務内容や学習内容に関するイメージの不一致がある。学校説明会や入学前教育において、これらの内容を明確に伝える。
- ・国家試験の受験対策講座の強化を図り、合格率を上げる。

③ 特記事項

--

3、評価項目の達成及び取組状況

(5) 学生支援

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1				
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	アンケートや個別面談を通してサポートしている。
・学生相談に関する体制は整備されているか。	4	3	2	1	年数回の担任による面談に加え、自由に相談ができるようオフィスアワーを示している。また、スクールカウンセラーを配置している。
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	教育訓練給付金制度や本校独自の奨学金制度がある。
・学生の健康管理を担う体制はあるか。	4	3	2	1	定期健康診断、保健室での応急処置、任意での予防接種を実施している。
・課外活動に対する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	学校行事や施設利用に関して支援体制がある。
・学生の生活環境への支援は行われているか。	4	3	2	1	学生が自由に活用できる演習室等のスペースを学内に確保している。また、県外の学生向けに寮を整備している。
・保護者と適切に連携しているか。	4	3	2	1	保護者への連絡は定期的に行っているが保護者会はない。
・卒業生への支援体制はあるか。	4	3	2	1	新人教育、研究指導、設備利用に関して支援している。
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4	3	2	1	教育訓練給付金制度や、学位取得者は単位互換制度を活用することができる。
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	4	3	2	1	中学校・高校での出前授業を実施している。

① 課題

- ・保護者との連携が不十分である。
- ・委員会やクラブ活動といった課外活動が実施できていない。

② 今後の改善方策

- ・保護者会等、保護者と連携できる場を整備する。具体的には保護者対象のアンケートを実施する。
- ・委員会やクラブ活動といった課外活動が実施できる環境を整備する。

③ 特記事項

- ・保護者に対して各期の成績表を書面にて報告している。
- ・卒後のスキルアップ研修の場として、学内に研究教育センターを設置している。
- ・学生への研修や研究発表の場として日本歯科衛生士会、兵庫県歯科衛生士会の学生会員入会をしている。

3、評価項目の達成及び取組状況

(6) 教育環境

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1				
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4	3	2	1	指定規則に従い施設・設備は整備されている。 令和4年から各教室にWi-Fiを導入し、学生の効率的な学習を支援している。
・学内の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	4	3	2	1	海外研修は実施していない。
・防災に対する体制は整備されているか。	4	3	2	1	設備の整備に加え、定期的に避難訓練を実施している。

① 課題

・海外研修を実施していない。

② 今後の改善方策

・海外研修の必要性を吟味し、企画・実行について検討する。

③ 特記事項

3、評価項目の達成及び取組状況

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1				
・学生募集活動は、適正に行われているか。	4	3	2	1	募集活動は適正に実施している。
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	3	2	1	国家試験合格率と就職率や、授業評価を伝えている。
・学納金は妥当なものとなっているか。	4	3	2	1	経済的な負担をできるだけ抑えるよう設定している。

① 課題

- ・医療従事者を養成する専門学校への進学についてイメージを持たれていない高校教師、保護者への対応が不足している。
- ・歯科衛生士の職業理解の普及がまだまだ浸透していない。

② 今後の改善方策

- ・保護者向け説明会の実施
- ・高校教師や保護者向け見学会の実施
- ・SNS等を利用して本校の特色を学外に発信

③ 特記事項

3、評価項目の達成及び取組状況

(8) 財務

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1				
・中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	3	2	1	スマレ会グループによる支援体制の下、財務基盤は安定している。
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	3	2	1	適宜修正を行い、妥当なものとなっている。
・財務について会計監査が適正に行われているか。	4	3	2	1	監査法人による監査を受審している。
・財務情報公開の体制整備はできているか。	4	3	2	1	ホームページにより情報を公開している。

① 課題

--

② 今後の改善方策

--

③ 特記事項

--

3、評価項目の達成及び取組状況

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1				
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4	3	2	1	法令、専修学校設置基準、指定規則を順守し、適正な運営を行っている。
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4	3	2	1	個人情報保護の対策をとっている。取り扱いについては、説明の上、同意を得ている。
・自己評価の実施と問題点の改善を図っているか。	4	3	2	1	自己評価後、問題点の改善が進んでいない項目がある。
・自己評価結果を公開しているか。	4	3	2	1	自己評価結果はホームページにて公開している。

① 課題

・自己評価により明らかになった問題点のうち、改善が進んでいない項目がある。

② 今後の改善方策

・関係各所で問題点を共有して対応にあたる。

③ 特記事項

--

3、評価項目の達成及び取組状況

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1				
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	3	2	1	中学生のトライやる・ウィーク、中学生高校生への出前授業を行っている。また、他団体に施設を提供している。
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	3	2	1	ボランティアの情報を収集して掲示している。
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練を含む）の受託等を積極的に実施しているか。	4	3	2	1	実施内容は特記事項に記載。

① 課題

・社会貢献、地域貢献として、中学生が地域で様々な体験活動をするトライやる・ウィーク、中学生高校生への出前授業を行っているが、近隣住民への貢献が不足している。

② 今後の改善方策

・近隣住民に対し、健康指導や市民講座を開催できるよう整備していく。

③ 特記事項

・認知症介護実践研修事業、介護福祉士実務者養成機関の指定。
 ・関西理学療法学会、兵庫県理学療法士会の各種研修への協力。

3、評価項目の達成及び取組状況

(11) 国際交流

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1				
・留学生の受入・派遣について戦略を持って行っているか。	4	3	2	1	留学生の受入・派遣はおこなえていない。
・留学生の受入・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。	4	3	2	1	留学生の受入・派遣、在籍管理等の手続きは取っていない。
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか。	4	3	2	1	留学生の学修・生活指導等を学内で実施できる体制は整っていない。
・学習成果が国内外で評価される取組みを取っているか。	4	3	2	1	学習成果が国内外で評価される仕組みは取っていない。

① 課題

・理学療法学科、歯科衛生学科ともに、留学生の受け入れや学修・生活指導等を学内で実施できる環境整備が不十分である。

② 今後の改善方策

・理学療法学科および歯科衛生学科において、留学生の受け入れや学修・生活指導等を学内で実施できる環境を整備していく。

③ 特記事項

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本年度の自己評価結果として、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行前に近い水準で学内外において取り組みを実施できた。

理学療法学科では4年ぶりに新入生歓迎会や体育祭、追い出しコンパといった開校時から続く学校行事を全て開催することができ、他学年との交流の活性化が図れた。また授業では、対面と遠隔を併用することで継続した学びを提供することができた。臨床実習においてはグループ病院を始め関係各所の協力のもと、すべての実習生が施設での実習を遂行することができた。国家試験対策では、昨年度と同様にセミナーを早期より開始し、学習習慣を定着させることで合格率の向上がはかれた。このように昨年度までの経験を踏まえ、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行時に実施した環境の整備・工夫を活用しつつ、学校行事等での学生と教員との交流を含め、学生が充実した学校生活を送ることができるよう支援できた。

歯科衛生学科では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の位置づけが令和5年5月8日から「5類感染症」になったことで、すべての授業を対面でおこなうことができた。また、学内での相互実技実習もこれまで通り感染防止に留意し全ての授業を実施することができた。レクレーションや学内交流の場面でも学生間の交流をはかることが可能となった。完成年度に向け2年生、3年生と計画を遂行する予定である。

今後の課題として、同窓会を機能させ卒業生の動向を把握するとともに卒業生および保護者との連携を強化すること、地域貢献として近隣住民への健康指導や市民講座を開催すること、留学生の受け入れおよび国際交流を実施する環境を整備することなどがあげられる。これらの課題を達成するべく学校をあげて努力していく。